

ここイスラマバードに赴任して、はや1ヶ月が経ちました。パキスタンの首都、イスラマバードは、四季のある、緑が多い、とても美しい街です。今、季節は盛夏に向かい、ますます暑くなっていくところです。

朝は4時から、モスクからのアザーンの調べが、荘厳に街中に響き渡ります。今は南国の見知らぬ鳥たちの、不思議な鳴き声が、この時間帯から、そこかしこ聞こえてきます。

紫のジャカラダをはじめとする、美しい木々。名前がわからない南国の花々。



マルガラ山よりイスラマバード遠景

緑の樹木に、赤、黄のコントラストが、とても美しく、バナナの木などが茂っていたりします。湿度は低く、乾燥していますので、風が熱いとは、感じますが、午後、2時、3時の一番暑い時間を越えれば、生活がしやすくなり、人々も、それ以降の時間から、行動が活発になるようです。

ほとんどの男性、女性は、イスラム教の教えに基づいた服装（シャルカミ）で生活しています。シャルカミは、肌の露出がほとんどありません。私達から見ると、とても暑そうに見えるのですが、パキスタンの人々は、全く平気のようです。

パキスタンはイスラム教の国家であり、そこで暮らす人は、ほとんどがイスラム教のムスリムです。キリスト教の信者も生活しているのですが、大抵の場合は、ひとつところに集まり、同じエリアで生活しています。

イスラマバードは人工的な都市であり、区画整理が進み、どちらかというところと整然としています。たくさんの大邸宅が並ぶエリアもあり、世界中のいろいろな国の人々が、暮らしています。外国人が居留する各家には、チョキダールボックスがあり、警護の人が、のんびりと一日を過ごしています。

パキスタンの人は、私達日本人が、とても珍しいようです。いろいろなビューポイントをまわると、「ジャナ、ジャナ」という声が聞かれます。中国人がチャイナですので、日本人がジャナになるのでしょうか。特に、日本人の幼児は、パキスタン人に人気があり、「いっしょに写真をとってくれ」というリクエストが多々ありました。パキスタン人は、総じて子ども好きと言われています。実際のところ、そのような場面に、たくさんでくわしたのは事実です。今回は、もう少し掘り下げて、イスラマバードの生活についてレポートしていこうと思います。では。